

## 住吉病院「後継」問題

# 大阪市の対応に異議あり

地域の医療を守る大阪市・住之江区医師会の松嶋三夫会長は、住吉市民病院の「後継病院」をめぐる維新大阪市政の対応の問題点について次のように語っています。

住之江区医師会長 松嶋 三夫さん

### 選定にも「フタ」

小児科・産科の専門病院

である住吉市民病院の後を継ぐのに、小児科も産科もまったく臨床経験のない南港病院を大阪市は選定しま

した。その結果、南港病院は現在、医師確保に困っています。

なぜそういう選定が行われたのかを知るために議事録公開請求したところ、1回目の回答は要約だけ返ってきました。選定理由はわかりません。再請求をしたところ、録音テープを廃棄したので回答不能だといふのです。ぐささいものにはふた。維新は隠したいものがあつたんでしょう。

## 巨額資金供与・格安土地売却 森友問題と同じ構図

隠べいしたのです。

南港病院は開業まであと1年を切ったにもかかわらず、設計契約も結んでいません。土壤検査もしていません。最も大事な医療計画も提出していない状況です。

結局、図面で建築物が日照権を侵害していることが発覚して、南港病院の建設を2年遅らせることになったわけです。これは、大阪市長が独断で決めたものです。独断で決める内容ではないと思います。市民の健康がかかっています。やはり議会で決めるべきです。

大阪市長はさらにこの南港病院に対して、11・8億円もの資金を提供する提案

をしています。4・8億円が助成金という名目で返還はしない。7億円については貸付金として提供するわけですが、30年間、無利子無利息で貸し付けるといふ、とんでもない内容です。

### 医療内容も粉飾

それから維新の会は、南港病院の医療内容を粉飾しています。

次に、住吉市民病院の跡地の問題ですが、地下鉄玉出駅から徒歩5分、阪神高速玉出ランプから車で1分です。きわめて利便性の高い好立地の、しかも4700坪という広大な敷地です。「超一等地」と言っても過言ではありません。それを従来だったら50年の借地契約ですすめる内容のもの、この病院に対しては、格安の路線価で売却するという、とんでもない内容です。

11・8億円の資金供与と格安の土地売却。森友問題の構図とまったく一緒で検討するべきです。南港病院に対して厳しい指導体制で臨むべきです。